

利用者アンケートについて（案）

調査目的

- 本検討会が対象とするチケットングやリアルタイムデータに関して、利用者から見た現状のサービスに対する課題・ニーズや今後への期待を把握し、とりまとめにおける参考情報とする。

調査方法

- Webアンケート調査会社のモニターを対象としたアンケート調査

調査時期

- 令和4年3月上旬を目処に実施予定
- 第5回WGにて結果をご報告予定

調査サンプル

- 対象規模は1,000サンプル程度を予定
- サンプルの割付は、以下の区分を想定。5区分（年代） × 2 区分（地域） = 10区分に100サンプルずつ
 - 年代（20代以下、30代、40代、50代、60代） 5 区分
 - 地域（大都市圏、地方圏）

調査対象

- 普段から公共交通機関（鉄道・バス・航空機・フェリー等）の利用がある人（月に1回以上等）

利用者アンケートの調査項目案

No.	分類	項目(案)
1	全般	普段利用している公共交通
2		公共交通の利用状況(コロナ前を想定)
3		移動に関わるサービス※の利用状況(交通モード毎:鉄道、高速バス・路線バス、航空、フェリーなど) ※交通事業者のWebサイト、アプリケーション、乗換案内サイト・アプリ、目的地検索が可能な地図サイト・アプリ を想定
4		MaaSの認知度
5		MaaSで提供されるサービスやアプリケーションの利用状況
6	チケットング等 に関連するサービス の利用状況及 び期待 等	企画乗車券等の利用状況
7		企画乗車券等の課題・ニーズ
8		インターネット上でのチケット購入サービスの利用状況
9		交通系ICカードやスマートフォン等への連動機能の利用状況
10		インターネット上でのチケット購入サービスの利用理由／期待
11		インターネット上でのチケット購入サービスの利用しない理由／困っていること
12		MaaS等で発行されるデジタルチケットの認知度
13		MaaS等で発行されるデジタルチケットへの期待
14		MaaS等で発行されるデジタルチケットの利用可能媒体
15		今後想定されるチケットング手法の変化に対する意向
16	リアルタイムデータ に関する利用状 況及び期待	リアルタイムデータ※の確認頻度 ※経路案内、運休・遅延等の運行情報、位置情報・ロケーション情報、到着・出発予測時刻、車両の混雑情報、駅・ターミナル等の混雑情報 を想定
17		リアルタイムデータの確認手段
18		リアルタイムデータを確認したいシーン(通勤・通学、災害時 等)
19		リアルタイムデータに対する期待・課題
20		リアルタイムデータの将来的に想定され得る提供方法(データを活用したサービス等)に対する意向